

インフラ整備70年 講演会（第73回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

斐伊川治水「３点セット」

～地域との信頼を礎に、安全で豊かな暮らしを世代を超えて守り育む～





＜講演内容＞

1. 斐伊川治水「３点セット」計画の経緯と全体像
2. 斐伊川放水路の実現に至る歩み
3. インタビュー：当時の関係者に聞く
   斐伊川治水「３点セット」
4. 志津見ダム・尾原ダムの建設に
   おける課題と地域との調整
5. 大橋川改修をめぐる合意形成
6. 斐伊川治水の効果と今後の展開
7. 今後の治水事業の課題と期待（意見交換）



＜講演者＞

池内 幸司　元建設省出雲工事事務所長
中川 哲志　元国土交通省斐伊川
　　神戸川総合開発工事事務所長
五道 仁実　元建設省出雲工事事務所長
堂薗 洋昭　国土交通省中国地方整備局河川部長

写真提供　中国地方整備局 出雲河川事務所
（左上）志津見ダム　（右上）尾原ダム
（左下）斐伊川放水路（右下）大橋川

2026年 11月25日（水）

講演会：15:00～17:00

場所：（一社）建設コンサルタンツ協会7階会議室（会場・WEBのハイブリット形式）

定員：会場 80名　WEB 1000名

「現代のヤマタノオロチ退治」にもたとえられる斐伊川治水の「３点セット」は、上流の志津見ダム・尾原ダムの整備、中流の斐伊川放水路等の整備、下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備を柱とする流域全体での治水事業である。事業を進める過程では、放水路計画への反対運動や、ダム建設に伴う技術的・行政的課題、漁業関係者との調整、島根・鳥取両県の合意形成など、多くの困難があった。本講演では、関係者が地域との信頼を築き、課題を乗り越えてきた過程をたどる。また、治水安全度の向上が地域の産業や農業を支えてきたことや、景観や水辺環境に配慮した整備が地域の暮らしにもたらしてきた効果を紹介する。さらに、気候変動を踏まえた流域全体の今後の治水対策を展望する。先人の先見性や技術者の工夫を振り返り、世代を超えて安全で豊かな暮らしを守り育むインフラ整備の意義と、次代を担う技術者へのメッセージを伝える。

（本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております）

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会　　後援：（公社）土木学会

インフラ整備70年講演会（第73回）

斐伊川治水「3点セット」
～地域との信頼を礎に、安全で豊かな暮らしを世代を超えて守り育む～

《講演者略歴》
池内 幸司　元建設省出雲工事事務所長／(一財)河川情報センター理事長／東京大学名誉教授
中川 哲志　元国土交通省斐伊川・神戸川総合開発工事事務所長／(株)建設技術研究所中国支社
五道 仁実　元建設省出雲工事事務所長 ／(一財)先端建設技術センター 理事長
堂薗 洋昭　国土交通省中国地方整備局河川部長
《意見交換（講演者とともに）》
水田 圭亮　パシフィックコンサルタンツ㈱／建設コンサルタンツ協会 河川計画専門委員会メンバー
澤田 晃二　いであ㈱／建設コンサルタンツ協会 河川計画専門委員会メンバー
福井 洋幸　㈱建設技術研究所／建設コンサルタンツ協会 河川計画専門委員会メンバー
岩田 通明　㈱建設技術研究所／建設コンサルタンツ協会 企画部会メンバー（司会進行）

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 講演会（会場・WEBともに無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/）よりお願いします。

【注意事項】
- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はご遠慮頂きますようお願いします。

＜WEB配信について＞
- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させて頂きます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先　E-mail：infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期で　あり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるといって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、　（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

＜次回講演会予定＞ 第74回講演会　2026年12月15日(火)　会場；建設コンサルタンツ協会7階会議室

テーマ：九州新幹線　～九州の熱い思いを紡ぎ地域の社会経済に根差す大動脈～
講演者：古宮洋二　九州旅客鉄道（株） 代表取締役社長執行役員
堀口知巳　(独)鉄道・運輸機構 副理事長
進藤良則　(独)鉄道・運輸機構 鉄道技術センター 設計部 橋梁構造課長
パネルディスカッション
楓千里　國學院大學 名誉教授
溝上章志　熊本学園大学 経済学部シニア客員教授・熊本大学名誉教授
古宮洋二　九州旅客鉄道（株） 代表取締役社長執行役員
堀口知巳　(独)鉄道・運輸機構 副理事長

*会場・WEBのハイブリット形式にて行う予定です